

ぐんま東毛労基通信

	TEL	FAX	QR
太田労働基準監督署	0276-45-9920	45-5573	 太田協会
労働基準協会			
太田労働基準協会	0276-46-5774	46-1544	 館林協会
館林労働基準協会	0276-72-8890	70-7622	
大泉労働基準協会	0276-20-1112	20-1113	 大泉協会

目 次

太田監督署管内の労働災害発生状況	2
全国労働衛生週間説明会が開催されました	3
会員訪問 株式会社エス工業	4
群馬労働局からのお知らせ 確認しよう 群馬県最低賃金	5
協会だより 平日講習時の駐車券の紛失にご注意ください！	6
11月・12月の講習・教育のご案内	6

令和8年度 全国労働衛生週間スローガン

ひとりひとりが貴重な人材 心も体も健やかに
みんな生き生き健康職場

土木建材、畜産機器、クリーニング関連機器等の金属製品を一貫生産。設備と技術を兼ね備える板金加工の総合メーカー。

株式会社エス工業(以下「エス工業」)は、太田市に拠点を置き、板金加工を中心に事業を展開するメーカーです。

1968年(昭和43年)8月、清水春雄氏(現取締役会長)が創業し、プレス加工業から事業をスタートしました。

1972年に法人化、1992年には社名を現在の「株式会社エス工業」(以下「エス工業」)に改称し半世紀以上にわたり地域産業を支えています。

株式会社設立の際に、会社の理念である「周りの仲間と手を携え、欠点ゼロのエス工業を目指す。」を旨とするロゴマークを定めました。ZはZero(ゼロ)、Sはエス工業、DはDisadvantage(欠点)、文字を囲む井桁は「顧客、取引先、従業員と会社が互いに支え合う姿」を表現しています。

会長の原点～両親の教え～

清水会長(以下「会長」)は桶屋の次男として群馬県甘楽郡丹生村(現富岡市)に生まれ、1958年(昭和33年)集団就職により、15歳にして東京の板金加工会社で職工として働き始めました。

父からは「挨拶は誰より先に、大きな声で、相手の目を見て」、母からは「男なら、かっとなる迫力を持ちなさい。」と人としての基本と志の大切さを教えられました。

裸一貫からの創業

会長の東京での生活は決して順風ではなく、18歳で転職を試みるも学歴を理由に門前払いされ、悔しさから寄宿舎の屋根で一晩泣き明か

したとのこと。その経験から「相手にされないなら力をつけて、認めてもらって上に行くしかない。」と覚悟を決め、働きながら資金を蓄え、太田市に住んでいた叔父の縁で、25歳のときに太田市由良町で創業しました。

叱ってくれる人の存在

会長は経営者としての歩みを振り返り、「叱られ、恥をかきながら、周りの人たちに教えられてきた。」と語ります。やっと掴んだ仕事を突然切られるなど、厳しい経験もありましたが、『叱ってくれる人は気づかせてくれる人』と前向きに捉え、謙虚さと誠実さをもって事業に向き合ってきました。この姿勢こそが、今日のエス工業の発展を支える原動力となっています。



〈新田工場内〉

大企業依存からの脱却

堅実な経営により、かつては大企業からの受注が全体の90%以上を占めるまでに成長しました。

しかし、先行き不透明な経済環境を見据え、会長は「多品種少量」、「短納期」、「特注への対応」へと業態を転換し、1社依存、1業種依存からの脱却を図りました。

加工・溶接・組立まで一貫対応できる設備を整備し、種類・台数ともに充実。熟練職人による新製品の提案も可能となり、特許も取得してい



〈本社事務所〉

ます。

現在では、土木建築資材、事務機器、畜産機器、クリーニング関連機器など、多様な製品を製造できる板金加工メーカーへと進化しました。

労働基準連合会長表彰

本年7月、(一社)群馬労働基準協会連合会より「労働安全衛生優良事業場」として表彰されました。

長年にわたり労働災害が発生していないことに加え、ISO9001の手法を活用した安全衛生水準の向上、定期的な安全パトロール、スポットクーラーの全作業員への配置などの熱中症対策、安全を含む職場改善提案制度の運用などが高く評価されました。

将来に向けて

1995年(平成7年)には、クリーニング事業に進出し、埼玉県内に工場を建設。2004年(平成16年)には「株式会社エス・クリーニング」を分社化し、近年では新たに「敬護事業」も展開しています。

2022年(令和4年)には、会長のご子息である清水貴文氏が代表取締役社長に就任し、新しい視点と発想による経営が期待されています。柔軟な対応力と先見性を持つエス工業は、これからも顧客・取引先の期待に応え、地域社会の発展に一層貢献していくことでしょう。

取材対応

取締役会長 清水 春雄 様

専務取締役 高田 昌樹 様